

木造建築に関わる木材の品質に対する技術的研鑽

—製材のJAS規格と高品質乾燥材を生産するための乾燥スケジュール—

岡山県木材組合連合会技術アドバイザー
* 技術士 (森林部門/林産)・博士 (農学)
河崎 弥生

[話題1]

テーマ

「中大規模木造建築の木造化への取り組み」 — J A S 製品への期待の高まり —

1. 建築サイドでの木造に対する意識
 - ①木造建築の動向
 - ②公共建築における現状
2. 中大規模木造建築に対する関連分野の現状と意識
 - ①中大規模建築に対して抱く概念
 - ②建築関連の有識者の中大規模木造建築に対する意見・提案
3. J A S 法の基本的理念と製品の位置づけ
 - ① J A S 法とは
 - ② J A S 製品の位置づけ

[話題2]

テーマ

「国産樹種の人工乾燥スケジュールを改めて考える」 —書籍「木材の乾燥」を参考にして—

1. ヒノキ
 - ①造作材
 - ②構造材 (柱材)
 - ③集成材用ラミナ
2. アカマツ
 - ①造作材
 - ②構造材 (平角材)
3. スギ
 - ①造作材
 - ②構造材 (柱材・平角材)

